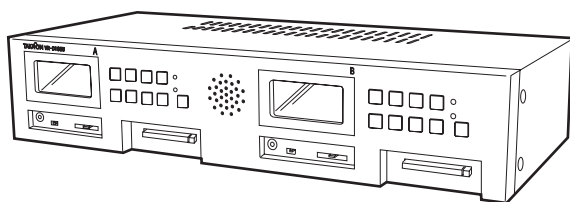


取扱説明書

通話録音装置

VR-D160W



安全にお使いいただくために.....	2
お使いになる前に.....	4
各部の名前とはたらき.....	8
時計を合わせる.....	10
通話を録音する.....	12
録音.....	12
画面表示.....	12
録音中の操作.....	13
コンパクトフラッシュについて.....	13
通話の再生とファイルの操作をする.....	14
再生.....	14
重要ファイル再生モード.....	15
ファイルの操作.....	16
設置.....	18
電源の接続.....	18
音源の接続.....	18
その他の接続.....	18
録音レベルの調整.....	20
機能登録を変える.....	22
設定一覧.....	22
変更方法.....	23
操作早見表.....	24
主な仕様.....	26
故障とお考えになる前に.....	27
再生ソフト VPS160.....	28

このたびは、通話録音装置 VR-D160W をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。お使いになる前にこの取扱説明書をお読みいただき正しくお使いください。

お読みになったあとも大切に保管していただき、必要なときにお役立てください。

安全にお使いいただくために

ご使用前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

STOP お願い

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止をまねく内容および利用できない機能などの内容を示しています。

ワンポイント

この表示は、本製品を取り扱う上で知っておくと便利な事項、および操作へのアドバイスなどの内容を示しています。

警告 ご使用にあたって



本装置がぬれたり、水が入らないようご注意ください。また、ぬれた手で本装置を操作しないでください。火災・感電・故障の原因になります。



本装置のケースをはずしたり、改造しないでください。火災、感電、故障の原因になります。内部の点検・清掃・修理は、当社のサービス担当にご依頼ください。



本装置の通風口などから、内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。万一、異物が入ったときは、電源コードをコンセントから抜いて、当社のサービス担当にご連絡ください。

警告 電源について



AC100Vの電源コンセント以外には、絶対に接続しないでください。また、テーブルタップなどを使用したタコ足配線はしないでください。

火災・感電・故障の原因になります。



ぬれた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因になります。



電源コードは大切に扱ってください。

コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、加工や加熱したり、傷つけたりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因になります。コードが傷んだ場合は、当社のサービス担当にご連絡ください。



電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに確実に差し込んでください。また、定期的に電源プラグをコンセントから抜いて、点検・清掃をしてください。

ほこりにより火災・感電の原因になります。

警告 設置場所や環境について




本装置のそばに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器、または小さな金属類をおかないでください。


こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因になります。万一、異物が入った場合は、電源コードをコンセントから抜いて、当社のサービス担当にご連絡ください。




アース線は絶対にガス管には接続しないでください。火災・感電の原因になります。


警告 設置場所や環境について 設置にあたって


 ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
倒れたり、落下してけがの原因になります。


 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。
火災・感電・故障の原因になります。


警告 こんなときは（対処のしかた）


 雷が鳴り出したら、本装置や電源プラグには触れないでください。
落雷による感電の原因になります。

 動作が異常、音が出ないなど故障状態のまま使用しないでください。
すぐに電源コードをコンセントから抜き、当社のサービス担当に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。


 煙が出ている、変な臭いがするなど異常状態のまま使用しないでください。
すぐに電源コードをコンセントから抜き、煙が出なくなることを確認して当社のサービス担当に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。


 内部に水が入った場合は、使用しないでください。
すぐに電源コードをコンセントから抜き、当社のサービス担当に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。


 本装置を落としたり、ケースを破損した場合は、使用しないでください。
すぐに電源コードをコンセントから抜き、当社のサービス担当に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

 床や壁の掃除などによって、電源コードやモジュラーコードに洗剤・ワックスなどが付着しないようにしてください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。
そのまま使用すると、火災の原因になります。


注意 使用方法・設置環境について


 直射日光の当たる場所や温度の高いところに置かないでください。
内部の温度が上がり、火災の原因になります。


 密閉したところに置かないでください。また、テーブルクロスや座布団などで通風口をふさがないでください。
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。


 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による感電や、漏電火災の原因になることがあります。

STOP お願い 使用方法・設置環境について

 落としたり強い衝撃を加えないでください。
機器の破損・故障の原因になることがあります。

 ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。
汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れを拭き取り、柔らかい布でカラダぎをしてください。

 極端に寒いところ、ちりやほこり・鉄粉・有毒ガスなどが発生する場所に置かないでください。
機器の破損・故障の原因になることがあります。

 テレビ・ラジオ・こたつ・アンプ・スピーカーボックス・電気カーペットの上など磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。
機器の破損・故障の原因になることがあります。

- 本装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
- 本機の仕様は国内向けになっていますので、規格の異なる海外でご利用いただくことはできません。
This device is designed to use only in Japan so that the use of the equipment is prohibited in foreign countries.
- 正常な使用状態で本機に故障が生じた場合、当社は本機の保証書に定められた条件に従って修理いたします。
ただし、本機の故障・誤動作または不具合により、通話などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 共同電話、公衆電話、地域集団電話ではご使用になれません。
- WindowsはMicrosoft Corporationの、PentiumはIntel Corporationの登録商標です。また、社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。

お使いになる前に

■セットの確認

次のものがそろっていることをご確認ください。万一、セットに足りないものがあつたり、取扱説明書に落丁・乱丁があつたときは、販売店または当社営業所へご連絡ください。

- 本体.....1
- コンパクトフラッシュ 128MB.....2
- モジュラーコード 3m.....2
- 電源コード.....1
- 配線バイнда.....1
- 再生ソフト VPS160 CD-ROM.....1
- 取扱説明書.....1

※製品に同梱された電源コードセットは、他の製品に使用しないでください。

■停電について

- 停電すると本装置は通話の録音はできません。録音中に停電すると、直ちに本装置は停止します。録音中の内容を保存できないこともあります。
- 内蔵の時計は、約3日間バックアップされています。3日以上停電した場合は、通電後年月日と時刻を合わせてください。時計が止まるまでの時間は、ご利用状況により変わることがあります。
- 各種設定や保存されている録音が消えることはありません。

■システム概要

●接続方法

電話回線にモジュラージャックで接続する方法と、外部音源にミニジャックで接続する方法があります。

●起動方法

1 ライン電圧起動

電話回線に接続した場合は、受話器をあげると録音を開始し受話器をおろすと録音を終了します。

2 音声起動

音声の有無で録音の開始、録音の終了をします。

3 外部起動

本装置外からの信号で録音の開始、録音の終了をします。

●録音モード

標準のSPモードと、録音時間が2倍になるLPモードを選択することができます。

●A、B二つのシステム

システムA、Bをそれぞれ別の回線（音源）に接続する方法（個別方式）と、A、Bが連動し1つの回線（音源）を長時間録音をする方法（連結方式）があります。いずれの方式の場合でも、システムAを再生しながらシステムBで録音、またはその逆も可能です。

●再生速度

「標準」、「早い」（1.5倍）、「遅い」（0.75倍）の3モードがあります。

●重要マーク

特定の録音ファイルに重要マークをつけ、重要ファイルだけを再生することができます。重要ファイルは通常の操作では消去できないので、誤消去防止にもなります。

●インデックス

録音の任意の位置にインデックスを付けることができます。再生時にワンタッチでインデックス間を移動できます。

●エンドレス録音

1枚のコンパクトフラッシュでエンドレス録音をすることができます。すべて使い切ると、古い録音を消しながら新しい録音を記録します。ただし、重要ファイルは消去しません。連結方式のときは、システム間をA→B→A・・・の様に録音します。

●外部録音装置の制御

本装置と大型録音装置が連動して録音をするように接続することができます。

●パソコン再生ソフト

録音したコンパクトフラッシュをパソコンで再生することができます。添付の再生ソフトVPS160をインストールしてください。

●時計の共有

本装置を複数台数ご利用いただく場合、「親機」を決め時計を合わせます。「子機」は親機の時計を参照します。装置間で時刻が不一致になることを防止できます。

■コンパクトフラッシュについて

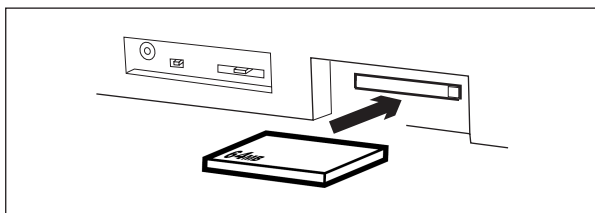
●種類

ご利用になれる「コンパクトフラッシュ」の容量と、おおよその録音時間は次のとおりです。

容量	32MB	64MB	128MB	256MB	512MB
SPモード	2時間11分	4時間23分	8時間46分	17時間34分	35時間10分
LPモード	4時間22分	8時間46分	17時間33分	35時間08分	70時間20分

- ・1枚のコンパクトフラッシュに1000件以上の録音を記録することはできません。
- ・市販のコンパクトフラッシュは、まれに正常に機能しないことがあります。コンパクトフラッシュをお求めのときは、販売店または当社営業所へお問い合わせください。

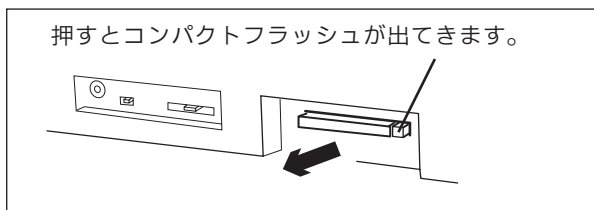
●本装置に入れる



コンパクトフラッシュを、「コンパクトフラッシュ挿入口」に差し込みます。

奥までしっかり差し込みます。「コンパクトフラッシュ取り出しボタン」が出てきます。

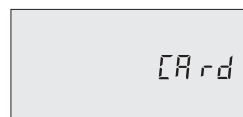
●本装置から取り出す



「コンパクトフラッシュ取り出しボタン」を押します。コンパクトフラッシュが出てきますので、取り出します。

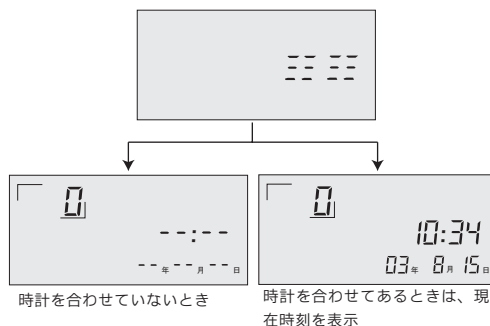
ワンポイント

コンパクトフラッシュが入っていない、または入っていても入り方が完全でない場合スピーカから警報音(「ピピ、ピピ」)がでて、ディスプレイにエラーが表示されます。



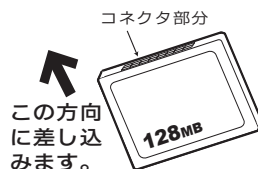
任意のボタンを押すと警報音を止めることができます。

コンパクトフラッシュを入れるとディスプレイは数秒間下のような表示になり、その後待機画面を表示します。



STOP お願い

- 録音・再生中は、コンパクトフラッシュを取り出さないでください。内部のデータが壊れることがあります。
- パソコンでコンパクトフラッシュの内容を編集しないでください。本装置でデータを読み書きすることができなくなることがあります。
- 差し込む方向を間違えると、機器を破損することがあります。ご注意ください。



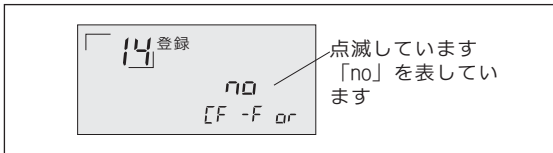
●フォーマット

新しいカードを初めて本装置に装着すると、自動的に本装置専用のフォーマットをします。

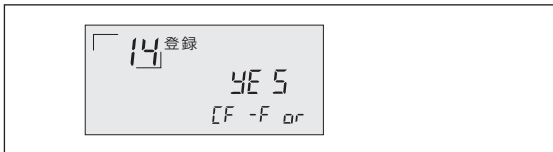
ご使用中のカードをフォーマットする方法は次のとおりです。フォーマットをするとすべての録音内容が消去されますのでご注意ください。

<手順>

- 1 23ページの手順で機能登録モードにします。
- 2 手順3で登録番号を「14」にし**登録**を押します。



- 3 **巻戻** ボタンを押して表示を下の図にして**登録** ボタンを押します。



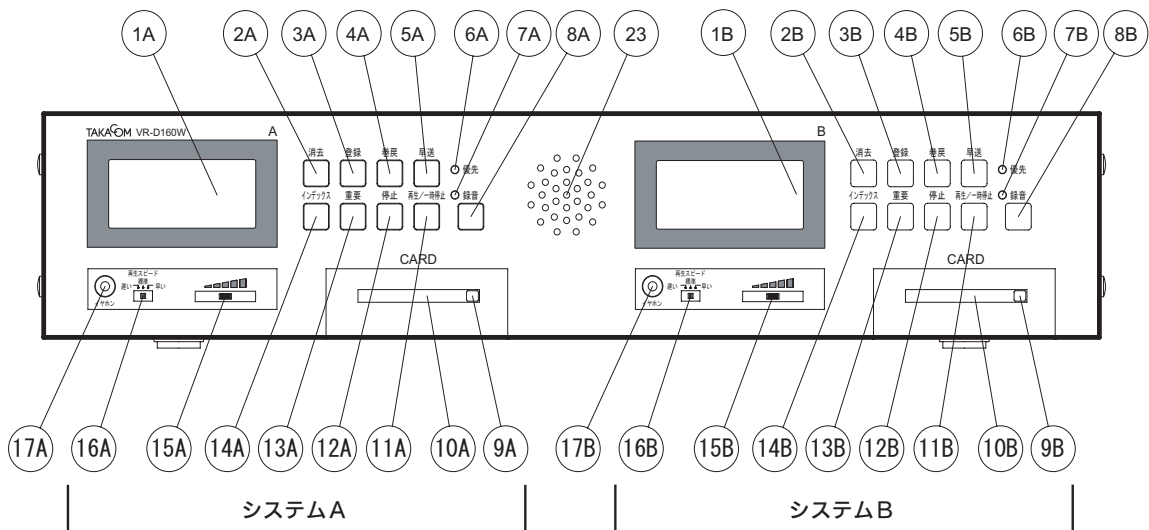
- 4 フォーマットが始まります。フォーマットが終わると自動的に待機画面になります。

■運用開始までの手順

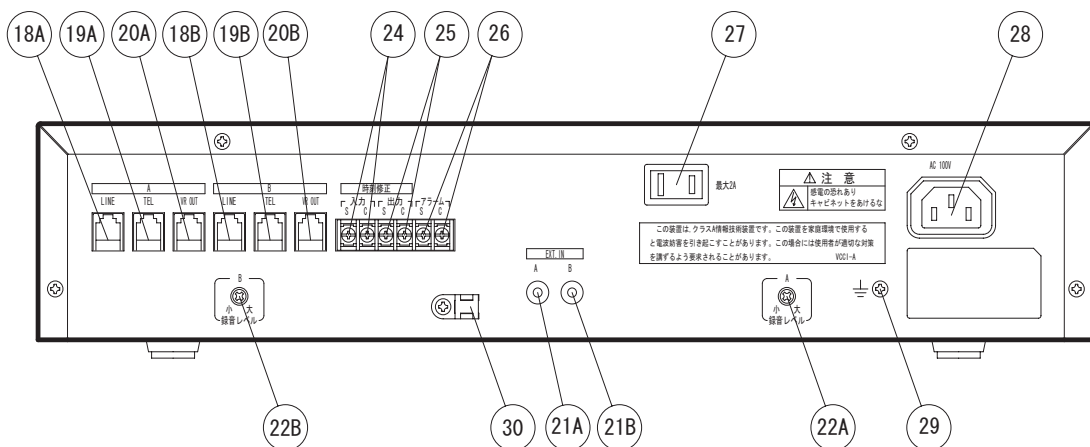
- 1 機器の接続（18ページ）
電源、電話回線や電話機の接続をします。
- 2 機能登録（22ページ）
起動方法、連結／個別の選択、などを設定します。
- 3 録音レベル調整（20ページ）
後面のボリュームで音量を調節します。
- 4 時計を合わせる（10ページ）
本装置内蔵の時計を合わせます。録音時刻を記録する時計になります。

各部の名前とはたらき

正面



後面

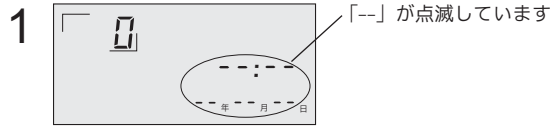


番号	名称	主なはたらき
1A, 1B	ディスプレイ	動作状況や録音された内容の情報を表示します
2A, 2B	消去ボタン	録音を消去するときに押します
3A, 3B	登録ボタン	機能登録をするときに使用します
4A, 4B	巻戻ボタン	再生時に録音内容を戻したり進めたりします
5A, 5B	早送ボタン	
6A, 6B	優先ランプ	連結方式のとき、優先システムのランプが点灯します
7A, 7B	録音ランプ	録音待機時に点灯、録音時に点滅します
8A, 8B	録音ボタン	録音待機にするときに押します
9A, 9B	コンパクトフラッシュ取り出しボタン	コンパクトフラッシュを取り出すときに押します
10A, 10B	コンパクトフラッシュ挿入口	コンパクトフラッシュを挿入します
11A, 11B	再生/一時停止ボタン	録音を再生するときに押します
12A, 12B	停止ボタン	いろいろな動作を終了します
13A, 13B	重要ボタン	重要マークをつけるときに押します
14A, 14B	インデックスボタン	インデックスを付けるときに押します
15A, 15B	再生ボリューム	再生音量を調節します
16A, 16B	再生スピードスイッチ	再生スピードを調節します
17A, 17B	イヤホンジャック	イヤホンを接続します
18A, 18B	回線ジャック	電話回線を接続します
19A, 19B	電話機ジャック	電話機を接続します
20A, 20B	VR出力ジャック	大型録音機を接続します
21A, 21B	外部入力ジャック	外部音源を接続します
22A, 22B	録音レベルボリューム	録音レベルを調節します
23	スピーカ	録音内容を拡声します
24	時刻修正入力端子	本装置を複数使用する場合、時計を共有するために使用します
25	時刻修正出力端子	
26	アラーム端子	本装置がアラームになったとき、信号を出力します
27	ACアウトレット	AC100Vを出力します
28	ACインレット	電源コードを接続します
29	接地端子	安全のための接地端子です
30	コード止め具	本装置への配線を固定します

- 数字の後に「A」「B」が付いているものは、システムA、システムBそれぞれに専用の部品があることを示しています。たとえば、「1A」はシステムA用のディスプレイ、「1B」はシステムB用のディスプレイです。

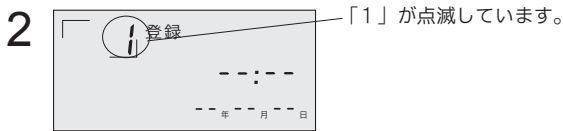
時計を合わせる

最初に時計を合わせます。通話時刻を記録するときこの時計の値が使われます。システムA側を操作します。
例：2004年8月15日14時38分に合わせます。

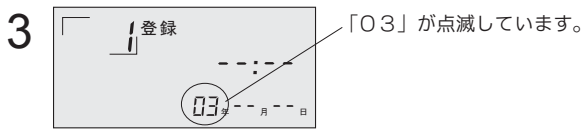


最初に電源を入れ、コンパクトフラッシュを入れた状態です。

登録 ボタンを押します。

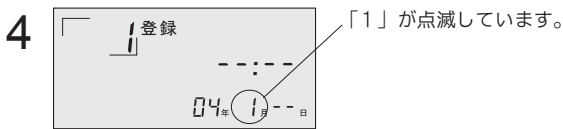


もう一度 **登録** ボタンを押します。



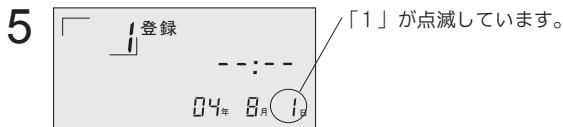
「年」を合わせます。

巻戻 または **早送** を押して、合わせる年を表示します。「04」になったら **登録** を押します。



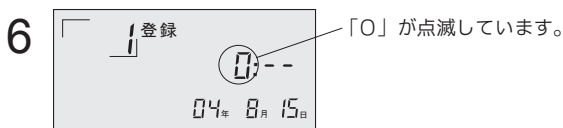
「月」を合わせます。

巻戻 または **早送** を押して、合わせる月を表示します。「8」になったら **登録** を押します。



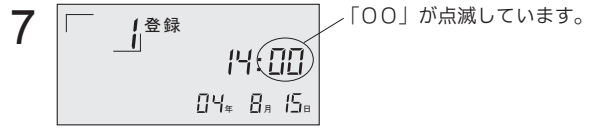
「日」を合わせます。

巻戻 または **早送** を押して、合わせる日を表示します。「15」になったら **登録** を押します。



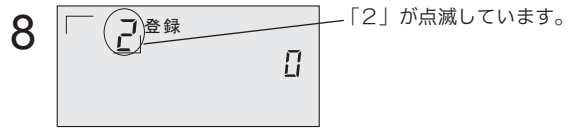
「時」を合わせます。

巻戻 または **早送** を押して、合わせる時を表示します。「14」になったら **登録** を押します。

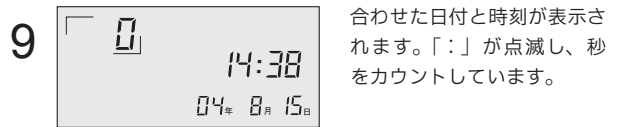


「分」を合わせます。

巻戻 または **早送** を押して、合わせる分を表示します。「38」になったら **登録** を押します。



停止 を押します。



合わせた日付と時刻が表示されます。「:」が点滅し、秒をカウントしています。

待機画面が表示されます。

ワンポイント

- 時刻を修正するときは、手順1から同様の操作をします。
- 手順7で **登録** ボタンを押したときにゼロ秒になります。
- 操作の途中で2分間何も操作をしないと、それまでの処理をキャンセルし、待機画面に戻ります。
- 途中で **停止** を押すと、それまでの操作をすべてキャンセルし、手順2に戻ります。
- 停電が3日以上続くと時計が止まり、リセットされます。そのときは、通電後合わせてください。

STOP お願い

- システムA側のボタンを操作してください。システムB側ではこの操作はできません。
- システムA側でボタン操作をしますが、コンパクトフラッシュはシステムBにも入れてください。両方にコンパクトフラッシュが入っていないと登録ボタンを押せません。
- 複数の本装置を接続して時計を共有する場合、「子機」に設定された装置では時計を合わせることはできません。

通話を録音する

録音

- ・ システムA, B両方を操作します。
- ・ 連結方式で使うときは、システムAのコンパクトフラッシュを使い切ると、自動的にシステムBのコンパクトフラッシュに録音に移ります。録音を待機しているシステムは「優先ランプ」が点灯します。

起動方法によって録音方法が変わります。

■ライン電圧起動のとき

- 1 **録音** ボタンを押して、録音ランプを点灯状態にします。
- 2 受話器を上げると録音を開始します。
 - 録音ランプが点滅に変わります。
- 3 受話器を下ろすと録音を終了します。
 - 録音ランプが点灯に変わります。

■音声起動のとき

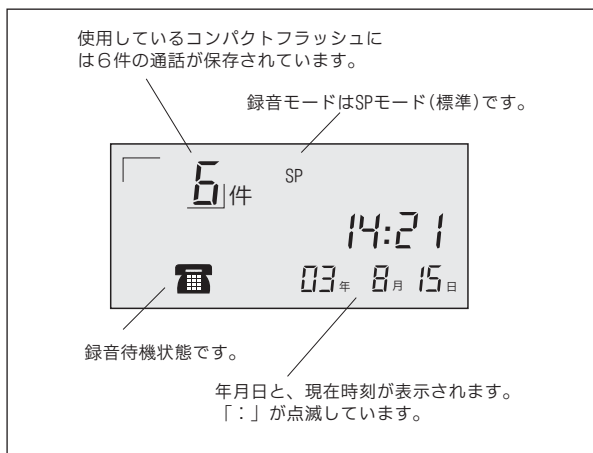
- 1 **録音** ボタンを押して、録音ランプを点灯状態にします。
- 2 音声を検出されると録音を開始します。
 - 録音ランプが点滅に変わります。
- 3 音声なくなると一定時間後に録音を終了します。
 - 録音ランプが点灯に変わります。
 - 音声なくなってから、停止するまでの時間を変更することができます。22ページをご参照ください。

■外部起動のとき

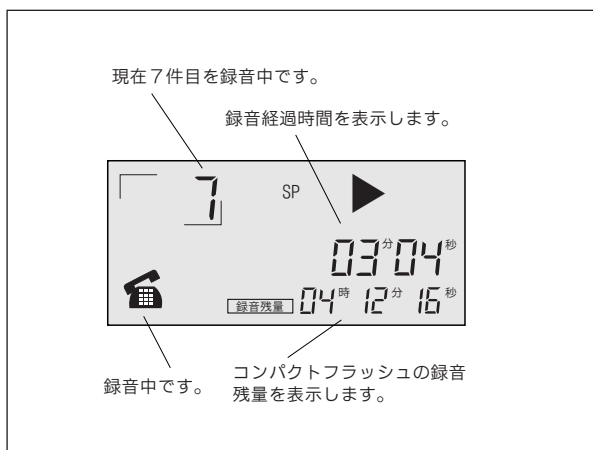
- 1 **録音** ボタンを押して、録音ランプを点灯状態にします。
- 2 制御信号が来ると録音を開始します。
 - 録音ランプが点滅に変わります。
- 3 制御信号なくなると、録音を終了します。
 - 録音ランプが点灯に変わります。

画面表示

■録音待機中



■録音中



* イヤホンを使うと、録音中の音声をモニターすることができます。連結方式のときはシステムA側の、個別方式のときはそれぞれのシステムのイヤホンジャックに接続します。

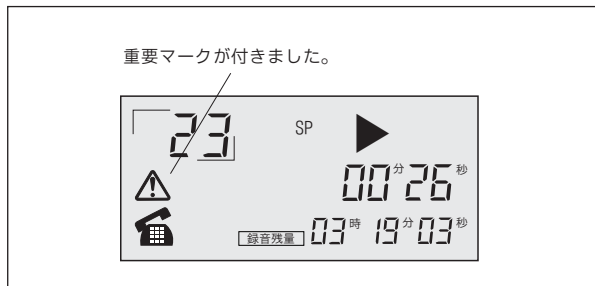
ワンポイント

- 起動方法の変更は、22ページをご参照ください。
- 録音ランプを消灯するときは、**停止** ボタンを押します。待機状態に戻ります。

録音中の操作

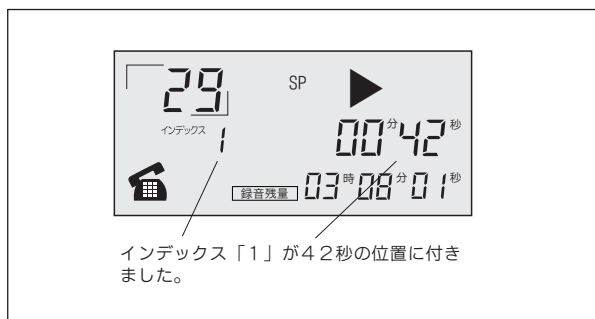
■重要マークをつける

録音中に **重要** ボタンを押します。



■インデックスを付ける

録音中に **インデックス** ボタンを押します。その位置にインデックスが付きます。1つのファイルに、最大5つのインデックスを付けることができます。

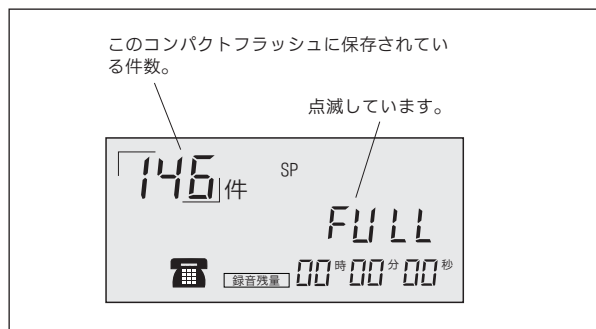


コンパクトフラッシュについて

■コンパクトフラッシュを使い切ると

コンパクトフラッシュを使い切ると下図のような表示になります。

また、1枚のコンパクトフラッシュに保存できる録音は、最大999件です。999件になると、録音残量がゼロでなくても、下図の表示が出て以後の録音はできません。この表示が出たら、コンパクトフラッシュを交換するか、不要なファイルを消去します。



■録音残量の表示

コンパクトフラッシュの残量を時間で表示します。16ページをご参照ください。

■コンパクトフラッシュの交換

5ページをご参照ください。

■ファイルの消去

16ページをご参照ください。

ワンポイント

●重要マークの付いたファイル（重要ファイル）

重要ファイルだけを再生するモードがあります。「重要ファイル再生モード」（15ページ）をご参照ください。

また、通常の消去操作では消去することができません。詳細は「ファイルの操作」（16ページ）をご参照ください。

●インデックスの付いたファイル

再生中にワンタッチでインデックスの位置へ移動することができます。

詳細は「再生」（14ページ）をご参照ください。

STOP お願い

録音中は、コンパクトフラッシュを取り出さないでください。保存されているデータが壊れることがあります。

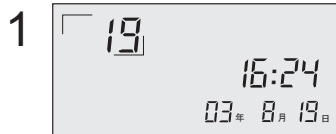
ワンポイント

連結方式で録音するときに、1つの通話がシステムA、Bの2枚のコンパクトフラッシュにまたがって録音されることがあります。

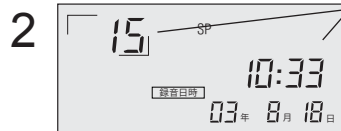
通話の再生とファイルの操作をする

再生

録音ランプが点灯または点滅しているときは、**停止** ボタンを押して消灯します。



巻戻 ボタンまたは **早送** ボタンを押して、再生するファイルを探します。



ファイル番号と、録音開始年月日時刻を表示します。

目的の録音が表示されたら、**再生 / 一時停止** ボタンを押します。



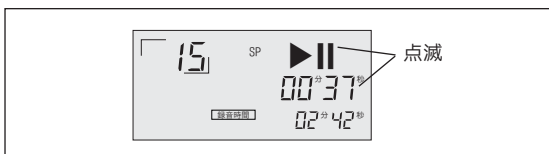
現在の再生位置と、録音時間を表示します。

再生が始まります。

■再生中の操作

●一時停止

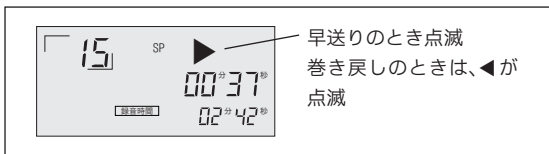
再生 / 一時停止 ボタンを押します。



- 再生に戻るときは、もう一度 **再生 / 一時停止** ボタンを押します。
- 一時停止が2分以上継続すると、停止状態（待機画面）になります。

●巻き戻し、早送り

巻戻 または **早送** ボタンを1秒以上押します。押している間巻き戻しまたは早送りをします。



- ボタンから手を離すと通常の再生に戻ります。

●再生中のファイルの冒頭に戻る

巻戻 ボタンを押します。

- 冒頭に戻り再生を始めます。
- インデックス付きファイルの場合は「ワンポイント」をご覧ください。

●1つ前のファイルに移動する

巻戻 ボタンを2回押します。

- 1つ前のファイルの冒頭に戻り、再生を始めます。
- ボタンを押す間隔は1秒以内にします。
- ファイル番号1を再生しているときにこの操作を行うと、「ピー」という信号音が出て停止状態（待機画面）になります。
- インデックス付きファイルの場合は「ワンポイント」をご覧ください。

●次のファイルに移動する

早送 ボタンを押します。

- 次のファイルの冒頭に進み、再生を始めます。
- 最後のファイルを再生しているときにこの操作を行うと、「ピー」という信号音が出て停止状態（待機画面）になります。
- インデックス付きファイルの場合は「ワンポイント」をご覧ください。

●重要マークを付ける

重要 ボタンを押します。

重要マークが
付きます



- 重要マークが付いたファイル（重要ファイル）だけを再生することができます。15ページをご参照ください。
- 通常の消去の方法では、消去できません。

●インデックスを付ける

インデックス ボタンを押します。

インデックス1が
49秒の位置に付
きました



- 早送** ボタンや **巻戻** ボタンでインデックス間を移動することができます。
- 再生中に、インデックスが付いている場所を通過すると、インデックスマークが1秒間表示されます。

インデックス2の
位置を再生中

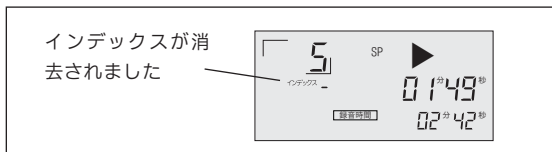


- ・1つのファイルに最大5つのインデックスを付けることができます。

重要ファイル再生モード

●インデックスを消去する

インデックスマークを表示中に**インデックス** ボタンを押します。



- ・複数のインデックスがある場合、消去したインデックスより大きい番号のものはインデックス番号が1つ小さくなります。

●スキップ再生

再生中に**再生/一時停止** ボタンを2秒間押します。「ピッ」と音がしてスキップ再生モードになります。

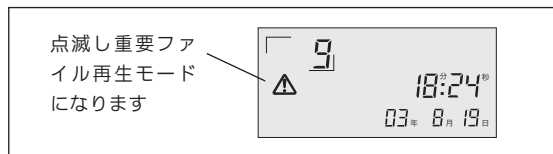
- ・ファイルの最初の5秒間を順に再生します。
- ・最後のファイルを再生するか、何かボタンを押すまで続きます。

●再生を終了する

停止 ボタンを押します。

- ・待機画面が表示されます。

- 1 待機画面のときに**重要** ボタンを押します。



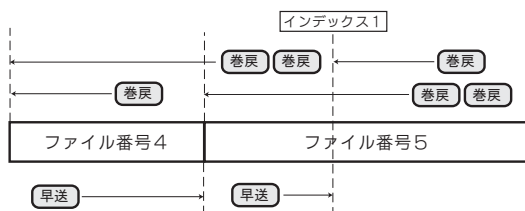
- ・ディスプレイは重要ファイルだけを表示します。

- 2 通常の再生と同じ操作をします。
- 3 待機画面のときに**重要** ボタンを押すと、重要マークが消え通常の再生モードになります。

ワンポイント

- 再生したいコンパクトフラッシュが装着されているシステムを操作します。システムAを再生しながらシステムBで録音、またはその逆も可能です。

- インデックスがある場合、ファイル間の移動は次のようになります。



- 前面の再生スピードスイッチを切り替えることにより、再生スピードを「標準」、「早い」(1.5倍)、「遅い」(0.75倍)に切り替えることができます。システムごとに切り替えが可能です。

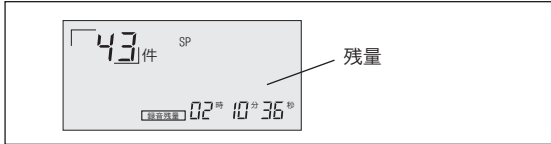
- 連結方式で録音している場合は、1つの通話がシステムA、Bの2枚のコンパクトフラッシュにまたがって録音されていることがあります。

ファイルの操作

待機画面（録音ランプは消灯、再生や登録などをしていない画面）のときに、次のような操作ができます。

■録音残量表示

（停止） ボタンを押します。押している間、残量を時間で表示します。



■ファイル間の移動

（巻戻） または **（早送）** ボタンを押します。押すたびに移動します。

（停止） ボタンを押した状態で、**（巻戻）** または **（早送）** ボタンを押すと、最古または最新のファイルに移動します。

■ファイルの消去

重要ファイルを消去することはできません。

- 1 「■ファイル間の移動」の方法で消去するファイルを選びます。
- 2 **（消去）** ボタンを押します。
 - ・画面に「消去」と表示されます。
- 3 もう一度 **（消去）** ボタンを押します。

■すべてのファイルの消去

重要ファイルを表示中はこの操作は行えません。

- 1 **（消去）** ボタンを2秒間押します。
 - ・画面に「全て消去」の文字と、消去する録音の件数が表示されます。
- 2 もう一度 **（消去）** ボタンを押します。

■重要マークの消去

重要ファイル再生モードではこの操作は行えません。

- 1 「■ファイル間の移動」の方法で重要マークを消去するファイルを選びます。
- 2 **（重要）** ボタンを2秒間押します。

■インデックスをすべて消去

- 1 「■ファイル間の移動」の方法でインデックスを消去するファイルを選びます。
- 2 **（インデックス）** ボタンを2秒間押します。

ワンポイント

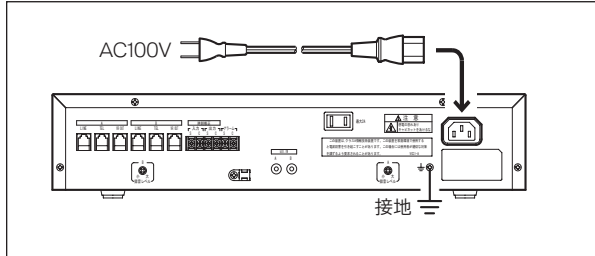
重要ファイルを消去することはできません。消去するときは次のいずれかの方法で行います。

- ・「重要マークの消去」の方法で重要マークを消去する。その後、ファイルを消去する。
- ・コンパクトフラッシュをフォーマットする。この場合、すべての通話ファイルが消去されます。フォーマットについては、6ページをご参照ください。

電源の接続

電源コードを本装置に取り付け、AC100V に接続します。本装置には電源スイッチがありませんので、接続すると電源が入ります。

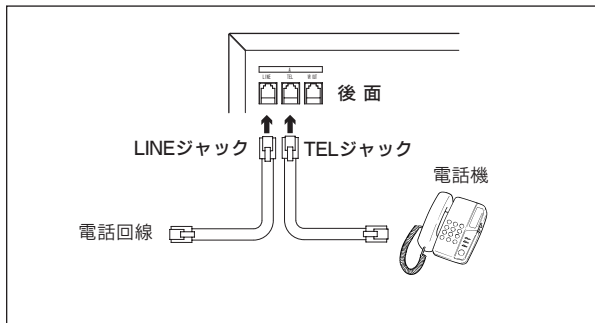
安全のため、必ず接地を実施してください。



音源の接続

■電話回線に接続するとき

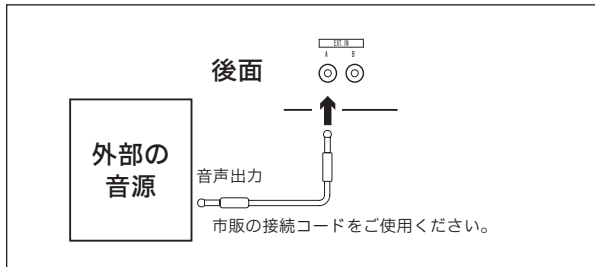
LINE ジャックに電話回線、TEL ジャックに電話機を接続します。



- ・ 連結方式のときは、システムA用のジャックに接続します。
- ・ 個別方式のときは、システムA、Bそれぞれのジャックに接続します。

■外部音源に接続するとき

外部入力ジャックに外部音源を接続します。

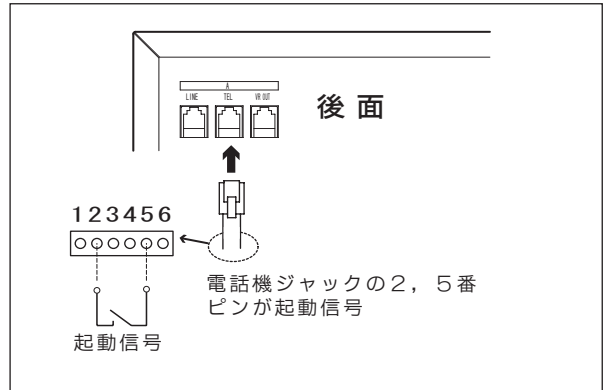


- ・ 連結方式のときは、システムA用のジャックに接続します。
- ・ 個別方式のときは、システムA、Bそれぞれのジャックに接続します。

その他の接続

■外部起動接点

外部から本装置の録音／停止を制御することができます。



- 1 上記のように起動信号を2、5番ピンに接続します。
- 2 機能登録「18」の設定値を「3」に変更することにより、起動方式を外部起動にします。
- 3 起動信号の方式により、機能登録「11」の設定値を変えます。
 - 設定値が「0」のとき
メークで録音、ブレークで待機
 - 設定値が「1」のとき
メークで待機、ブレークで録音

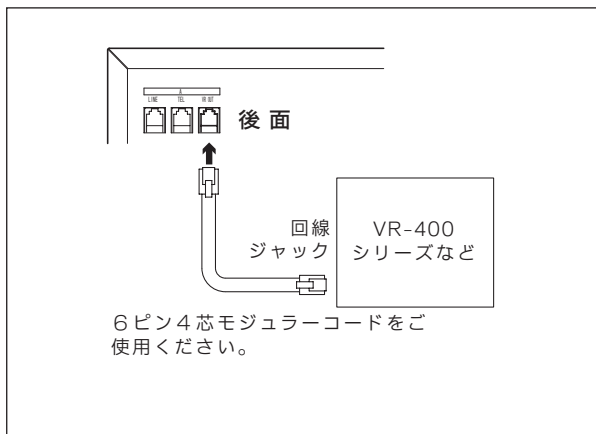
以上の準備をした後、録音ボタンを押しておきます。外部信号に同期して、録音の開始／終了をします。

- ・ 連結方式のときは、システムAのジャックに接続し、システムAの登録を変更します。
- ・ 個別方式のときは、システムA、Bそれぞれのジャックに接続し、システムA、Bの登録を変更します。

■VR出力ジャックへの接続

本装置と大型録音装置が連動して録音をするように接続することができます。

次ページの図のように本装置と大型録音装置を接続します。接続には6ピン4芯のモジュラーコードをご使用く



ださい。2芯のコードでは、大型録音装置へ起動信号を送ることができません。

起動信号の送り方を、機能登録「12」の設定値で変えます。

●設定値が「0」のとき

本装置の録音ボタンを押し、録音状態になったときに起動信号を出力します。コンパクトフラッシュを使い切っても録音条件になっていれば起動信号を出力します。

待機画面、再生中のときは信号を出力しません。

●設定値が「1」のとき

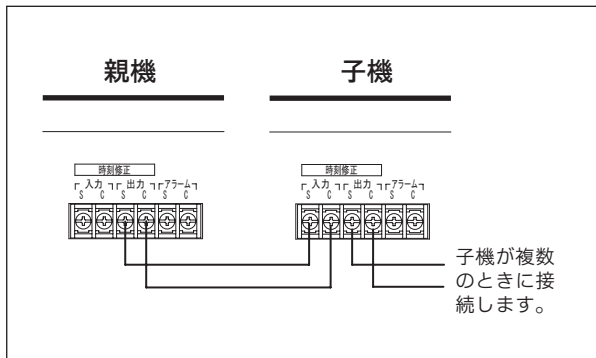
本装置の状態にかかわらず「外部起動接点」に連動して信号を出力します。

電源を投入した直後の処理中は信号を出力しません。

- ・ 連結方式のときは、システムAのジャックに接続し、システムAの登録を変更します。
- ・ 個別方式のときは、システムA、Bそれぞれのジャックに接続し、システムA、Bの登録を変更します。

■時計の共有

本装置を複数台数ご利用いただく場合、「親機」を決め時計を合わせます。「子機」は親機の時計を参照します。装置間で時刻が不一致になることを防止できます。



●親機

機能登録「15」（時刻修正）を「0＝親機」にします。時計を合わせます。この場合子機は停止ボタンを押し、待機状態にします。

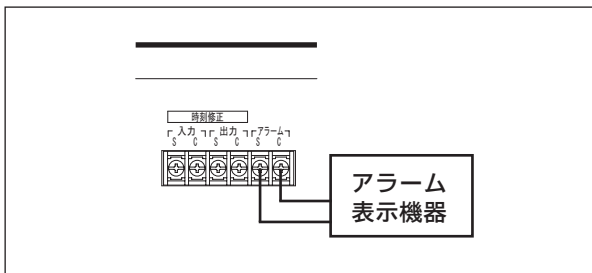
●子機

機能登録「15」（時刻修正）を「1＝子機」にします。時計を合わせる必要はなく、親機の時計を参照します。

- ・ 接続工事は電源コードを抜いた状態で実施してください。
- ・ 電源の投入はまず子機から行い、最後に親機を投入してください。

■アラーム信号

本装置がアラーム状態になったとき、外部へ無電圧メーク接点を出力します。



●アラーム状態

- ・ 連結方式のときは、システムA、Bともにコンパクトフラッシュを使い切ったとき（「FULL」の表示がでたとき）。
- ・ 個別方式のときは、システムA、Bのどちらかのコンパクトフラッシュを使い切ったとき（「FULL」の表示がでたとき）。

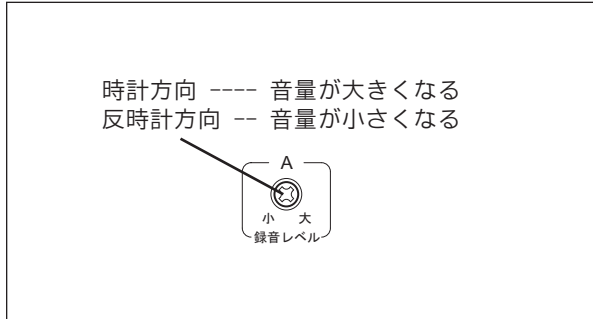
録音レベルの調整

ボリュームを調節するときは、プラス・ドライバーをお使いください。

■全体の音量

本装置後面の録音レベルボリュームで全体の音量を調節します。この調整は、電話回線と外部音源の両方に対して有効です。

工場出荷時は、中央になっています。



- ・ 連結方式のときは、システムA側のボリュームを調節します。
- ・ 個別方式のときは、システムA、Bそれぞれのボリュームを調節します。

■録音レベルの確認方法

簡易レベルメータを表示し、レベルを目視で確認することができます。

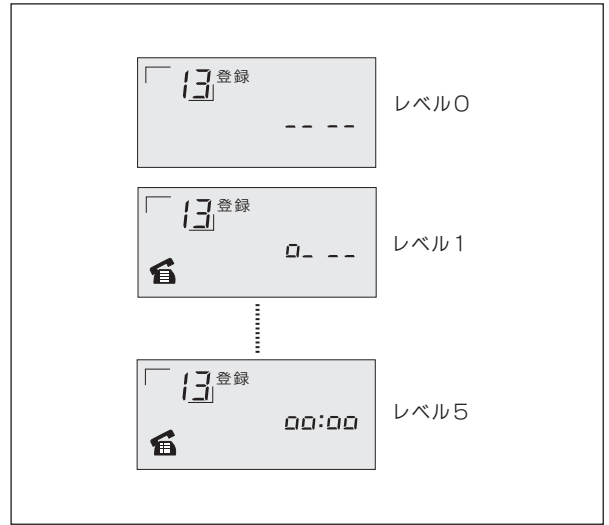
手順：

- 1 登録モードにし、登録番号13の録音レベル表示にします。22ページをご参照ください。
- 2 音声を入力すると、レベルに応じて表示が変化します。
- 3 上記の方法で、レベルを調整します。
- 4 登録モードを終了します。

- ・ 連結方式のときは、システムA側のボタンを操作しディスプレイを見ます。
- ・ 個別方式のときは、システムA、Bそれぞれのボタンを操作しディスプレイを見ます。

●レベルメータの見方

音声起動の場合は、「レベル1」で「音声あり」と判定し、録音を開始します。「レベル0」が一定時間続くと録音を終了します。録音終了までの時間は、22ページをご参照ください。



機能登録を変える

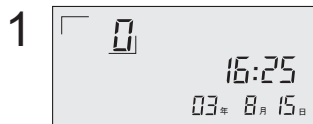
本装置のいろいろな動作条件を変更することができます。

設定一覧

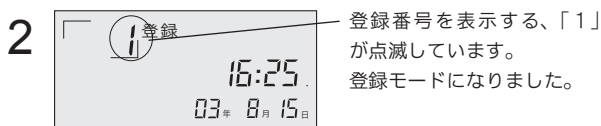
登録番号	内容	値の意味と範囲	工場出荷時	参照ページ	システム	
					個別	連結
1	内蔵時計の年月日時刻を合わせます	2003年1月1日～ 2099年12月31日	なし	10	A	A
2	録音モードを合わせます。LPモード(長時間)にすると録音時間はSPモード(通常)の2倍になりますが、音質が多少悪くなります	0=SPモード(標準) 1=LPモード(長時間)	0	—	A/B	A
3	「エンドレス録音」(コンパクトフラッシュを使い切ったときに古い録音を消しながら新しい録音をする)を、する/しないをきめます	0=しない 1=する	0	—	A/B	A
4	起動が確定する5秒前からの音声を保存する機能を使う/使わないをきめます	0=使わない 1=使う	0	—	A/B	A
5	1つのファイルに保存できる最大録音時間をきめます	1～99分	60	—	A/B	A
6	音声起動にしたときに、音声がなくなって録音を終了するまでの時間をきめます	0=4秒 1=8秒	0	12	A/B	A
7	コンパクトフラッシュを使い切ったときにアラームを出す/出さないをきめます	0=出さない 1=出す	0	—	A/B	A
8	本装置のボタンを操作したときに受け付け音を出す/出さないをきめます	0=出さない 1=出す	1	—	A/B	A
9	再生時に録音日時をアナウンスする/しないをきめます	0=しない 1=する	0	—	A/B	A
10	録音ランプが消えている時間が30秒を超えたとき、自動的に録音待機(録音ランプが点灯)にする/しないをきめます	0=しない 1=する	0	—	A/B	A
11	外部起動信号がメーク(接)のとき起動/ブレーク(断)のとき起動をきめます	0=メークで起動 1=ブレークで起動	0	18	A/B	A
12	本装置がVR出力ジャックに出力する信号を、本装置が録音状態になったときに出力する/外部起動接点に連動し出力するのいずれかを決めます	0=本装置が録音状態になったとき出力、1=外部起動接点に連動し出力	0	18	A/B	A
13	録音レベルを表示します	—	—	20	A/B	A
14	本装置で使うコンパクトフラッシュをフォーマットします	Yes=フォーマット No=中止	—	6	A/B	A/B
15	本装置を複数使用するとき親時計になる装置をきめます	0=親機 1=子機	0	19	A	A
16	システムA,Bの使い方が、連結方式/個別方式のいずれであるかをきめます	0=個別方式 1=連結方式	0	12	A	A
17	録音時間が4秒未満のファイルを自動的に削除する/しないをきめます	0=削除しない 1=削除する	0	—	A/B	A
18	起動方式をきめます	1=ライン電圧起動 2=音声起動 3=外部制御	1	12	A/B	A
19	接続する回線がナンバーディスプレイ回線/通常回線をきめます	0=通常回線、1=ナンバーディスプレイ回線	0	—	A/B	A

変更方法

次のようにして、登録内容を変更します。録音ランプが点灯しているときは、**〔停止〕** ボタンを押して消灯します。
例：登録番号「3」のアドレス録音を、「0=しない」から「1=する」に変更します。

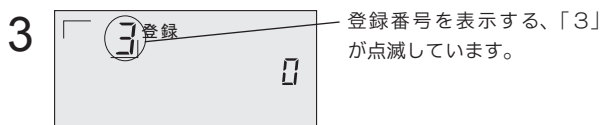


〔登録〕 ボタンを押します。



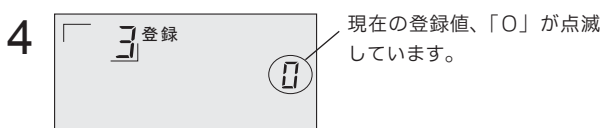
登録番号を表示する、「1」が点滅しています。
登録モードになりました。

登録番号を進めるときは **〔早送〕** ボタンを、戻すときは **〔巻戻〕** ボタンを押します。
この例では、「3」にします。



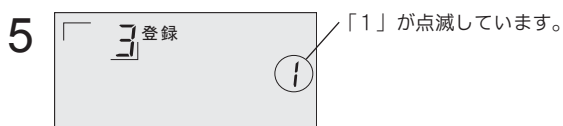
登録番号を表示する、「3」が点滅しています。

〔登録〕 ボタン押し、登録番号を決定します。



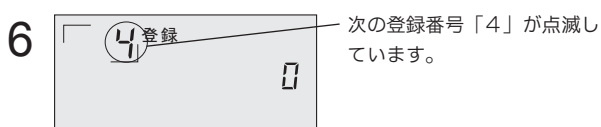
現在の登録値、「0」が点滅しています。

登録値を進めるときは **〔早送〕** ボタンを、戻すときは **〔巻戻〕** ボタンを押します。
この例では、「1」にします。



「1」が点滅しています。

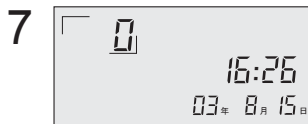
〔登録〕 ボタン押し、値を決定します。



次の登録番号「4」が点滅しています。

ほかの登録内容を変更するときは、手順2に戻って登録番号をきめます。

終了するときは、**〔停止〕** ボタンを押します。



待機画面に戻ります。

ワンポイント

●設定一覧表の見方

2つあるシステムのうち、登録できるシステムが限定されることがあります。また、運用方式により登録できるシステムが変わることがあります。「設定一覧」の「システム」の項にその区別を表示してあります。

- ・「A」-- システムA側だけで操作します
- ・「A / B」-- システムA, Bの両方で操作します

例1：登録番号1の時計を合わせる

運用方式にかかわらず、システムAだけで操作します。

例2：登録番号2の録音モードの登録

運用方式が「個別」のときは、システムA, Bの両方で操作が必要です。運用方式が「連結」のときは、システムAだけで操作をします。

●次のような場合登録モードにはなりません

- ・ どちらか、または両方のシステムにコンパクトフラッシュが入っていない
- ・ どちらかのシステムが登録・録音・再生中

●ナンバーディスプレイ回線対応

本装置をナンバーディスプレイ回線に接続するときに登録番号「19」を「1=ナンバーディスプレイ回線」に変更しますが、本装置で発信者番号を取得・表示することはできません。

録音

■録音

●準備

待機画面のときに操作します。

録音 ボタンを押します。

*録音ランプが点灯します。

●録音

1 録音条件になると録音を開始します。

*録音ランプが点滅します。

2 条件がなくなると録音を終了します。

*録音ランプが点灯します。

■録音中の操作

録音中に操作します。

●重要マーク

重要 ボタンを押します。

*該当の録音に「重要マーク」が付きます。

●インデックス

インデックス ボタンを押します。

*押した位置に「インデックス」が付きます。

再生

■再生

待機画面のときに操作します。

1 **巻戻** ボタンまたは **早送** ボタンを押し、再生するファイルを選択します。

2 **再生 / 一時停止** ボタンを押します。

*再生が始まります。

■再生中の操作

再生中に操作します。

●一時停止

再生 / 一時停止 ボタンを押します。

*再生を再開するときは、もう一度 **再生 / 一時停止** ボタンを押します。

●巻き戻し、早送り

巻戻 または **早送** ボタンを1秒以上押します。

●再生中ファイルの冒頭に戻る

巻戻 ボタンを押します。

●1つ前のファイルに戻る

巻戻 ボタンを2回押します。

●次のファイルに進む

早送 ボタンを押します。

●インデックスを付ける

インデックス ボタンを押します。

●インデックスを消去する

インデックスマークを表示中に、**インデックス** ボタンを押します。

■重要ファイルだけの再生

待機画面のときに操作します。

1 **重要** ボタンを押します。

2 通常の再生と同じ操作をします。重要ファイルだけが表示・再生されます。

3 待機画面のときにもう一度 **重要** ボタンを押すと、通常の再生モードに戻ります。

■ファイルの操作

待機画面のときに操作します。

●録音残量表示

停止 ボタンを押します。

●ファイル間の移動

巻戻 または **早送** ボタンを押します。

●ファイルの消去

ファイルを選択し、**消去** ボタンを2回押します。

●全てのファイルの消去

消去 ボタンを2秒間押します。もう一度 **消去** ボタンを押します。

●重要マークの消去

重要 ボタンを2秒間押します。

●インデックスをすべて消去

インデックス ボタンを2秒間押します。

主な仕様

項目		仕様
電話回線	収容回線数	最大2回線
	回線種別	アナログ一般回線
	接続方式	モジュラー接続
録音	録音媒体	コンパクトフラッシュ (32~512MB)
	起動方式	ライン電圧起動/音声起動/外部制御
	総録音時間	5ページをご参照ください
	最大ファイル数	999個 (1枚のコンパクトフラッシュに保存できる最大数)
外部入力ジャック	形状	3.5φミニジャック
	インピーダンス	20kΩ
	入力レベル	-10dBm
外部起動端子	端子位置	電話機ジャック2, 5番ピン
	接点仕様	無電圧メークまたはブレイク入力 (接点容量: DC5V, 10mA以上。接点抵抗: 500Ω以下)
アラーム端子		無電圧メーク接点出力 (接点容量: DC30V, 500mA)
時計精度		月差±5秒 (通電時、25°C)
外形寸法(突起物を含みません)		幅430mm × 奥行185mm × 高さ88mm
質量		約3.3kg
電源	電源	AC100V ± 10V, 50 / 60Hz
	消費電力	最大約 11W
	停電時の時計保証	約3日
	ACアウトレット	最大2A

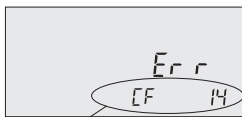
*仕様は品質改善のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

故障とお考えになる前に

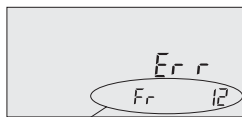
こんなときは	お確かめください	参考ページ
ディスプレイに表示がでない	電源コードが電源コンセントからはずれていませんか	18
ディスプレイに“CArd”と出て操作できない	①コンパクトフラッシュは入っていますか ②奥までしっかり入っていますか	5
ディスプレイに“FULL”と出て操作できない	コンパクトフラッシュを使い切りました。交換するか、不要な録音を消去してください	13, 16
録音ランプが点灯したままで録音が始まらない	起動方式は合っていますか	22
ファイルの消去ができない	重要マークが付いたファイルを表示しているときに操作していませんか	16
機能登録ができない	連結方式のときに、操作できないシステム側で機能登録をしていませんか	22
	もう一方のシステムが録音・再生・登録のモードになっていませんか	23
時計が止まって、表示が点滅している	停電や電源コードがコンセントからぬけるなどで、通電が3日以上止まっていませんか	10

■ディスプレイのエラー表示

システムに異常が発生すると、下のような表示が出ます。エラー番号をメモされた上、販売店または当社営業所へご連絡ください。



エラー番号：CF-14



エラー番号：Fr-12

再生ソフト VPS160

■使用できるパソコン

- ・ 本体：NEC- PC98-NX, DOS/V
- ・ CPU：Pentium 300MHz 以上、または同等品
- ・ OS：日本語版の Windows 98 / 98SE / Me / NT4.0 SP6a(I.E. 4 以上) / 2000 Professional / XP
- ・ ハードディスク：25MB 以上の空き容量
- ・ メモリー：64MB 以上
- ・ ディスプレイ：解像度 800 X 600 ドット以上、画面の色 High Color(16bit) 以上
- ・ コンパクトフラッシュの読み書きができるリーダーライターが付いていること
- ・ CD-ROM ドライブがあること（インストール用）
- ・ サウンドカードとスピーカ：PCM, 3/4/6/8/12kHz, 16bit 音声ファイルが再生できること

■お使いになるときの注意

- ・ WindowsNT 4.0、2000 または XP にインストールするときは、管理者権限を持ったユーザー（たとえば Administrator）でログオンしてください。
- ・ WindowsXP でご利用いただく場合、本ソフトが稼働中は「ユーザー切り替え」は使わないでください。データが破損することがあります。
- ・ 本ソフトが稼働中は、Windows をスタンバイモードや休止モードにしないでください。データが破損することがあります。

■機能概要

VR-D160W で録音された音声ファイルは、本ソフトを利用してコンパクトフラッシュからパソコン上にコピー保存していただくことをお勧めします。

コンパクトフラッシュのファイルを直接再生することはできませんが、インデックスや重要マークの変更、メモの追加をした場合、変更結果をコンパクトフラッシュに書き込むことはできません。

1 ファイルの再生

ファイルを選択し再生します。①1つのファイルだけを再生、②1つのファイルを繰り返し再生、③順番に再生の3つの再生モードがあります。②の繰り返し再生の場合、ファイル内で繰り返す場所を指定することができます。

再生速度は本体と同様の「早い」、「標準」、「遅い」の3種類です。

2 インデックス・重要マーク

本体と同様に操作することができますが、追加・削除をした場合その結果をコンパクトフラッシュに書き込むこ

とはできません。変更内容は、パソコン上に保存してください。

3 メモを付ける

漢字で最大64文字のメモを付けることができます。メモを付けたファイルはコンパクトフラッシュには保存できません。

4 パソコンに保存

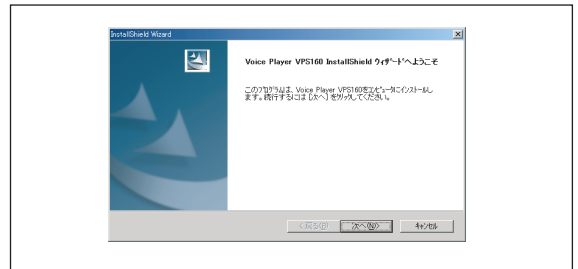
コンパクトフラッシュの内容をそのままワンタッチでコピーできます。また、上記2、3の変更を加えた内容をパソコンに保存することもできます。

5 検索

ファイル名と、上記3で付けたメモの内容でファイルを検索することができます。

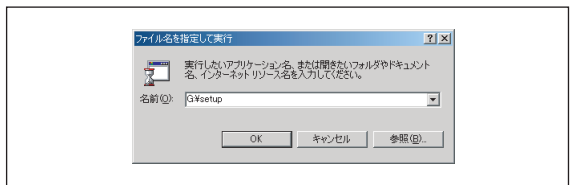
■インストール

- 1 ほかのソフトをすべて終了します。
- 2 添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに入れます。
- 3 インストールプログラムが自動的に起動します。画面の指示に従ってインストールしてください。
- 4 画面の指示に従って、必要であればシステムを再起動します。



●インストールプログラムが自動的に起動しないとき

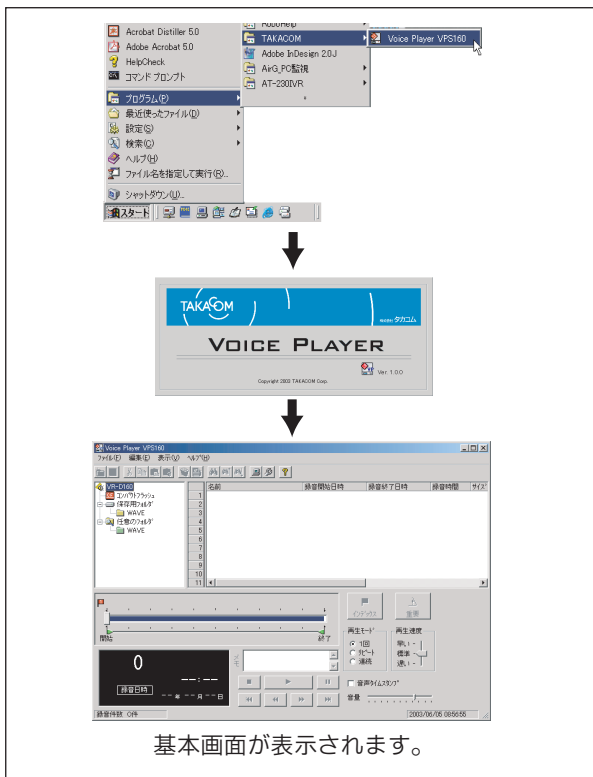
- 1 タスクバーの [スタート] → [ファイル名を指定して実行] をクリックします。
- 2 「名前」欄に、キーボードから「G:\setup」と入れて [OK] ボタンをクリックします。



- ・ インストールプログラムが起動します。
- ・ 「G:」は CD-ROM のドライブ名です。お使いのシステムによって異なります。

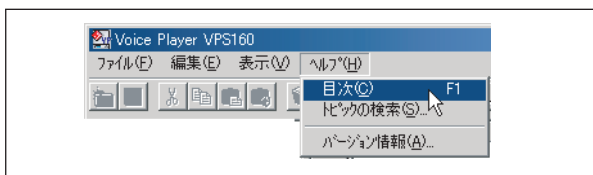
■ソフトの起動

タスクバーを [スタート] → [プログラム (P)] → [TAKA-COM] → [Voice Player VPS160] の順にクリックします。



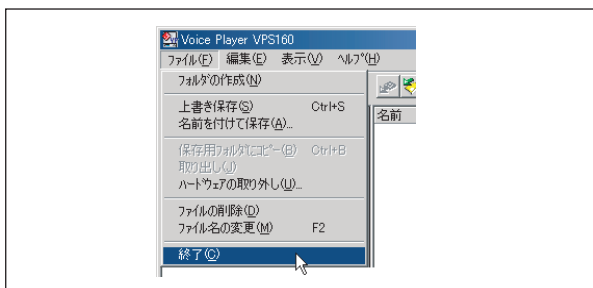
■ソフトの操作方法

本ソフトの操作方法は、ヘルプ画面をご参照ください。メニューバーを [ヘルプ (H)] → [目次 (C) F1] の順にクリックします。



■ソフトの終了

メニューバーを [ファイル (F)] → [終了 (C)] の順にクリックします。



■ソフトの削除 (アンインストール)

ソフトを削除するときは、次の手順で行います。

- 1 タスクバーを [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] の順にクリックします。
- 2 「アプリケーションの追加と削除」を開きます。
- 3 「Voice Player VPS160」を選んで削除します。

STOP お願い

- コンパクトフラッシュをリーダーから取り出すときは、事前に、「ファイル」→「取り出し」を実行してください。この操作をせずに取り出すと、データが壊れることがあります。詳細はヘルプの「6 コンパクトフラッシュについて」をご覧ください。

ワンポイント

- ご使用のパソコンの機種によっては本ソフトが正常に機能しないことがあります。ご了承ください。
 - ご使用中のOSが Windows 98 / 98SE / NT4.0 SP6a の場合、ヘルプの表示や印刷が正常に行われなことがあります。そのような場合は、次の操作で Windows 98/ 98SE / NT4.0 SP6a の表示機能を更新してください。
 - 1 CD-ROM をドライブに入れます。
 - * インストール画面が開いたら、[キャンセル] ボタンをクリックします。
 - 2 タスクバーを [スタート] → [ファイル名を指定して実行] をクリックします。
 - 3 「名前」欄に、キーボードから [G:\nhupd.exe] と入れて [OK] ボタンをクリックします。
 - * 「G:」は CD-ROM のドライブ名です。お使いのシステムによって異なります。
 - 4 システムの更新が始まります。画面の指示に従ってください。
- NT4.0 の場合、インターネットエクスプローラはバージョン4以上のものをご使用ください。

免責事項について

お客様が本ソフトウェアを使用し、または運用した結果、直接または間接的に生じる損害に対して、弊社は一切責任を負いません。

保証とアフターサービス

- 本書は、下記記載の保証条件で無償修理を行うことをお約束するものです。保証期間内に故障した場合には、本書を提示のうえ、お買い上げ店または当社修理センターに修理をご依頼ください。
- 保証期間後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有償修理いたします。お買い上げ店または当社修理センターへお問い合わせください。
- 本品の故障・誤操作または不具合により、通話などの利用機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

保証書

型名	通話録音装置 VR-D160W		
保証期間	お買い上げ日より1年間		
お買い上げ日	年	月	日
お客様	お名前	様	
	電話番号	()	-
	ご住所	〒	
販売店名/住所/電話番号			

保証条件

- 1 保証書記載の保証期間内に、取扱説明書などに従った正常なご使用状態で故障した場合には、お買い上げ店または当社修理センターが無償修理いたします。
- 2 保証期間内に故障して無償修理を受ける場合には、お買い上げ店または当社修理センターに製品と本書をご持参またはご送付ください。尚、修理ご依頼のご持参、お持ち帰りの場合の交通費、またご送付される場合の送付費用などはお客さまのご負担となります。
- 3 保証期間内であっても、次の場合は有償修理となります。
 - ① 保証書の提示がない場合
 - ② 保証書にお買い上げ日、お買い上げ店印がない場合
 - ③ 保証書記入箇所の字句を書き換えられた場合
 - ④ 誤ったご使用方法で故障または損傷した場合
 - ⑤ 輸送・移動中の落下などお取り扱いが適当でないために生じた故障または損傷の場合
 - ⑥ 火災・地震・水害・雷害などの天災地変およびその他の特殊な外部要因によって故障または損傷した場合
 - ⑦ 本製品に異常がなく、本製品以外の部分(例えば、電話線・電源・他の機器など)の不良を点検または改善した場合
 - ⑧ 不当な修理や改造をしたために故障または損傷した場合
 - ⑨ 消耗品を交換した場合
- 4 この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 5 この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 6 ご贈答品、ご転居後の修理については、当社修理センターにご相談ください。

使い方・取付け方などのご相談

お客様相談センター  0570-03-8811

受付時間: 月～金 9:00～17:30 <土・日曜日、祝日、当社指定休日除く>

修理に関するご相談

- 製品の修理につきましては、お買い上げの販売店様または当社「修理センター」へお問い合わせください。

当社ホームページ <http://www.takacom.co.jp>
「修理のご依頼」をご覧ください。

株式会社タカコム

検索

株式会社 **タカコム**

本社・工場/〒509-5202 岐阜県土岐市下石町西山 304-709